



パソコンで助太刀!

チラシづくりの打ち合わせの様子



多賀モリ会のみなさん「パソコンは字を打つくらいであまり使えなかったので、今回お手伝いいただきとても助かりました」



「外部からの依頼は今回がはじめてでしたが、目ごろの学びや町内会や同窓会のチラシをつくった経験を活かしました」

今年設立10周年を迎える「多賀城市多賀モリ会」は、10月開催の記念イベントに向けて準備中。ある日、広報担当のみなさんがチラシ作成の仕方を教えてほしいとたがさぽに来館しました。スタッフと相談して、たがさぽで活動しているパソコン学習のサークル「多賀城マウス同好会」の木村友也さんに手伝ってもらうことになりました。

そして数日後。普段の活動で磨いてきたスキルを活かして木村さんがつくってきた原案をもとに、レイアウトの説明を受けながらどんな情報を載せるとよいか、どこに配置するかを決めていきました。その後、数回の作業と確認を経てチラシは完成しました。

このように、活動していく中で自分たちだけで取り組むには難しいことも出てきますが、案外近くに得意としている人もいます。そのような視点で地域を見回すと、いろいろなことのできる人材に出会えるはずですよ。

チ。ラ。シ。づ。く。り。で。コ。ラ。ボ。レ。ー。シ。ョ。ン

●月▲日
イベント
開催します!
チラシで
広報!

10周年記念イベント「さよなら認知症 広げよう健康体操!」は10月24日(火)、多賀城市文化センターで行われます。ぜひご参加ください!

多賀城市多賀モリ会 10周年記念イベント

さよなら認知症 広げよう健康体操!

日時 平成29年10月24日(火) 10:00~12:00

講師 藤本 敬彦氏
東北大学准教授 スポーツ医学部の准教授

会場 多賀城市文化センター 小ホール

内容
①基調講演 藤本 敬彦氏
②多賀モリ会の10年のあゆみ
③多賀モリ会 第一発表

参加料無料
申し込み不要

多賀モリ会とは
平成19年設立。10年目を迎えます。この機会をもちまして「多賀モリ会」の活動を通じて、多賀モリ会を地域で取り組んでいます。

【活動的な85歳を目指しましょう!】

介護予防活動

多賀城市多賀モリ会

平成19年設立。「活動的な85歳を目指しましょう」をスローガンに、「多賀モリ体操」を通じた介護予防活動に取り組んでいます。

パソコン勉強会

多賀城マウス同好会

平成16年設立。毎週木曜日にたがさぽでパソコンの勉強会をしています。



ヒントfrom“たがさぽPress”
たがさぽのブログから地域づくりに役立つ記事をご紹介します

詳しくはブログへ <http://blog.canpan.info/tagasapo/>



たがさぽからのお知らせ
たがさぽが企画する「一歩ふみだすきっかけ」をご紹介します

TAGAJO Future Labo

受講生募集!

「地域のために何かをしたい!」「自分の特技を地域に活かしたい!」という想いを形にしませんか? 7月~来年1月にかけての7回の講座で、エクスカーション(体験型見学)やワークショップを通して、アクションを起こすきっかけづくりや自分の想いの整理を行います。日程や内容など、詳細はお問い合わせください。

事前説明会を行います!

日時	2017年7月1日(土) 13時30分~15時
会場	多賀城市市民活動サポートセンター 301会議室
費用	無料
問合せ	022-368-7745 (多賀城市市民活動サポートセンター)
その他	説明会に参加しなくても、本講座には参加できます。

“たがさぽPress”とは?

たがさぽスタッフによるブログ。興味が湧いたらたがさぽPressへ! *ケータイ、スマホからご覧いただけます。



多様な「性」にYES! ~展示に込められた想い~

5月17日は「LGBT嫌悪に反対する国際デー（通称IDAHO＝アイダホ）」それに合わせて、5月3日（水）～21日（日）にたがさぼで展示会「IDAHOメッセージ展&レズルプロジェクト」が開催されました。

まずは知ってください!

「IDAHO」は、日本では「多様な性にYESの日」と呼ばれています。この日の前後には全国各地でさまざまなアクションがあり、たがさぼでの展示会もその一つです。主催した「たがじょうIDAHO実行委員会」の「IDAHOを多くの方に知ってもらい、誰もが多様な性の当事者であることを伝えたい」という想いから企画されました。

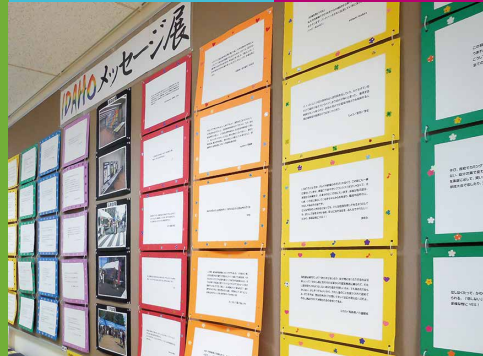
今回展示されたのは、「IDAHO」に関連して各地から寄せられた「IDAHOメッセージ」と、カラフルな折り鶴でつくられた「^{レズル}連鶴」。これらから、セクシュアル・マイノリティ（性的少数者）当事者の「そのままの自分を受け入れてほしい」など、素直な想いが感じ取れました。展示会を取り上げた新聞記事を見て来場した方もいて、「LGBTについてはじめて知ることができた」や「理解しているよ!」といった応援の声もあったそうです。多様な人が集まるたがさぼで展示会をしたことで、これまであまり知らなかった人にも見てもらうことができ、気づきや理解が深まりました。5月20日（土）には、「当事者とLGBT団体の架け橋となるような活動をしたい」という想いから、交流会を開催。参加者の中には当事者の方ももちろん、当事者ではないですがLGBTを理解し支援する方の姿もありました。

また、この展示会にあわせて、たがさぼ主催で「多様な性を知ろう!たがさぼIDAHO展」も開催。性の多様性やそれを認め合うことの大切さを本や新聞記事を通して紹介しました。

一人ひとりが多様な性の持ち主

展示会を開催してみて、実行委員会からは「肯定的な感想や意見をいただくことが多く、驚いた。初めて知ったという人も多かったようで、開催してよかった」という話がありました。

セクシュアル・マイノリティは、20～30人に1人の割合でいるとも言われています。自分の性のあり方を公表している人、していない人。異性を好きな人、同性を好きな人、生まれたときの性別とは異なる生き方をしている人。誰もが多様な性の持ち主です。今回の展示会では、そうした多様な性の持ち主が同じまちで生きていることを感じられたのではないのでしょうか。実行委員会のメンバーは「誰もがその人らしく生きられるように、尊重し、歩みよる意識を持ってほしい」と話してくれました。



「多様な性」をテーマとしたメッセージの展示を作成した青森の団体「スクランブルエッグ」。性のあり方にかかわらず、誰もが幸せに生きることのできる社会を目指して、2008年に活動開始。セクシュアル・マイノリティや性の多様性について、まずは知ってもらうことから偏見をなくしていこうと活動中。



2011年から毎年「連鶴」を制作している「♀×♀お茶っこ飲み会・仙台」。レズビアン、バイセクシュアルなど女性が好きな女性が「安く」「気軽に」集まれる場所をつくらう!というコンセプトで茶話会を開催。フリーペーパー「♀カノ×カノ♀」「KakkoH!」の発行も。



展示会場の様子。LGBTのテーマカラーは6色の虹。カラフルな展示が目をはきます。

用語解説

IDAHOとは?

「LGBT嫌悪に反対する国際デー」の略称。1990年5月17日に世界保健機関が同性愛を精神疾患のリストから外したことに由来。英語では「International Day Against Homophobia (同性愛嫌悪), Transphobia (トランスジェンダー嫌悪) and Biphobia (両性愛者嫌悪)」。

LGBTとは?

L(レズビアン)…女性が好きな女性のこと。G(ゲイ)…男性が好きな男性のこと。
B(バイセクシュアル)…好きになる性別を問わない人。T(トランスジェンダー)…生まれた時の性別とは異なる生き方をしている人。※「性同一性障害」はトランスジェンダーの人が医療を必要とする場合に医師に診断してもらう医学的な概念のこと。

こちらも
ご覧ください~
「やっぱ愛ダホ!
idaho-net.」
やっぱ愛ダホ
検索 けんさく
けんさく
してみて

